

**八束のひろば**

～八束公民館報 第11号～

発行:松江市八束公民館運営協議会 Tel(0852)76-3663 Fax(0852)76-3669

## 元気です「ひよっこり大根島」

八束公民館 館長 池田 均



人口の減少が著しい島根の中山間地域では、買物や金融機関、医療など日常生活に必要な機能を中心集落に集め、今後も人が住み続けるための「小さな拠点づくり」が進められようとしています。

八束町は中山間地域ではありませんが、現在、行政や住民の皆様とともに、市八束支所と八束公民館の複合施設整備や、生活交通であるコミュニティバスの全地区乗り入れ、また特別養護老人ホームの誘致活動など、日常生活に不可欠な機能・サービスを確保し、人口減にあっても持続可能な「八束の拠点づくり」に取り組んでいます。

近年、若い世帯でUターンの動きが見られ、子どもも増えつつあります。理由として、①中海圏域に位置する境港、松江、安来、米子の4市（ベタ踏み坂）など道路網の整備に

より15分から40分以内である。②内海の地盤強固な溶岩島で、地震の揺れや津波も比較的小さく、また高い山や河川がなく土石流災害も想定されない。③小中学校・保育園舎の新築や、先進的な校舎一体型の小中一貫教育の取組みなど、教育・保育環境が整いつつある。④ふるさとの素晴らしい景観を再認識。⑤共働きや子育てで祖父母の協力が得られるなど、安心して暮らせる環境があります。

ところで、昔懐かしいテレビ人形劇「ひよっこりひょうたん島」をご存知でしょうか。東京オリンピック開催の半世紀前に放映され、互いにユニークな植物名の島として親近感と元気をもらいました。古今とも島の元気の源は若いエネルギーです。若い世帯のUターンが加速すれば大根島に、ひよっこり「瓢箪（大根）から駒」がでて、その駒が未来を信ずる大統領ドン・ガバチョと一緒に活躍するかもしれませんね。楽しみです。



特集

## 座談会

## 本と子どもの成長

八束公民館は、2年後の平成30年春、市八束支所内に移転し、新しい図書室を計画しています。この度、八束学園、中村元記念館、本の読み聞かせボランティア「お話を窓」の各分野から参加いただき、「本と子どもの成長」をテーマに対談しました。

過しますが、児童・生徒たちへの読書教育についてお聞きかせください。



市立小中一貫校八束学園 司書  
地阪摩谷さん（八束町遅江在住）

われます。でも読書は心を耕しこともですが、読書は心を耕しこともでも読書するキッカケができるばと思って取り組んでいます。様々な分野の本を読むことによって、感情が動き、知識が増え、考えさせられ、時には冒険することもできます。

松本…私は、八束学園で本の読み聞かせボランティアをやっていますが、幼児の頃は、大人に「読んでもらう」「一緒に見る」ことで安心したり、共感したりするものだったのが、成長するにつれ一人で読んでみようとするようになり、感動や知識を得る手段に変わっています。そういう意味でも成長に合わせて本を与えていくことが大切かと思います。



本の読み聞かせボランティア「お話を窓」  
松本久美子さん（八束町江島在住）



福本…中村元記念館で司書の仕事をしていますが、読書は心の成長に必須の栄養みたいなものだと思います。特に、大人に読み聞かせてもらう時間は、授乳のような幸せな時間だそうです。児から児童へ成長し、大人とのコミュニケーションに歪ができるやうな時期を、難なく乗り切るにも役立つと思います。家庭や学校、地域の図書館でたっぷりお話を読んでもらう機会があ

ると良いですね。

太田・小さい頃に、家族や周りの大  
人から読んでもらった楽しい記  
憶が、今でも心の中に残ってい  
ます。自分の知らない世界を知  
る楽しさが本にはありますね。  
そうした本の魅力についてお聞  
かせください。

松本・本の魅力は、現実の生活では  
経験できない人生や考え方、文  
化に触れることが可能のこと。  
例えば、昔話など日本文化に触  
れる機会になると思いますが、  
最近の子どもたちは、定番と思  
っているような有名な昔話で  
も、内容を知らないことがあります。  
読んでいてびっくりすることが  
あります。

地阪・魅力の一つは、疑似体験でき  
ることではないでしょうか。ハ  
ラハラするような体験を実際に  
経験したら大変です。また、読  
書からは様々な知識が得られま  
す。例えば、自分で実験して何  
かを発見することはなかなか難  
しいですが、本は実験した人が  
伝授してくれます。こんなあり  
がたいことはないと思います。  
福本・文学作品の場合には、次回作を



の一つになるのではないでしょ  
うか。

松本・町内に本屋さんもなく、交通  
も不便で自家用車がないと本屋  
にも行けないので、公民館に本  
が置いてあるのはありがたい。  
耳で聴くデジタル図書や、マン  
ガで学ぶ歴史本などがあるとい  
いですね。図書室が本を読むだ  
けでなく、ゆったり談笑したり  
待つ楽しみ、まだ知らない世界  
をこれから読むワクワク感など  
でしようか。また自分がトライ  
したいことの要点や詳しい情報  
が一冊にまとめられているのも  
本の魅力ですね。

太田・2年後には、八東公民館も市  
八東支所との複合施設となり、  
新しく図書室の設置が検討され  
ています。図書室（館）の役割  
についてお聞かせください。

福本・私は、町に図書館は絶対に必  
要なものだと思います。人の思  
考はすべて言葉で成り立つてい  
ます。図書館は言葉が集約され  
様々な分野の知識も集約される  
場所です。公民館に図書室がで  
きれば、町民の皆さんのがんばり所



中村元記念館 司書  
福本七生子さん（米子市在住）

福本・利用しやすい場所に図書室が  
あれば、とても便利でありがた  
いです。市八東支所や公民館、  
中村元記念館、お隣の八東学園、  
どちらかに用事がある時ついで  
に寄れるので利用が増えそうで  
すね。将来的には、八東町に市  
立図書館の分館ができると良い  
など願っています。

太田・現在は公民館に図書コーナー  
があり、貸し出しを行っています  
が、新しい複合施設には、親  
子で触れ合いながら読書を楽し  
むことができるスペースを是非  
確保してほしいですね。今日の  
対談で改めて本（読書）の大切  
さを実感しました。今日はあり  
がとうございました。



八東学園 図書室にて



八東公民館  
太田美喜子主事（東津田町在住）

